

会 議 録

会議名 (協議会等名)	小山公民館運営協議会 (第 2 回)			
事務局 (担当課)	小山公民館 電話 0 4 2 - 7 5 5 - 7 5 0 0 (直通)			
開催日時	令和 5 年 1 1 月 1 6 日 (木) 午後 7 時～午後 8 時 3 6 分			
開催場所	小山公民館 1 階 大会議室			
出席者	委 員	2 0 人 (別紙のとおり)		
	その他	4 人 (小山公民館体育部長、文化部長、青少年部長、広報部長)		
	事務局	4 人 (館長代理、主事 3 人)		
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0 人	
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第	1 開会 2 委嘱式 3 会長 (公民館長) あいさつ 4 職員の紹介 5 議題 (1) 令和 5 年度事業結果及び予定について (2) 令和 5 年度事業計画について (3) 小山公民館長の推薦について (4) 各貸室の利用区分の変更について (5) 令和 5 年度小山公民館運営協議会視察研修について (6) 令和 5 年度小山公民館市民健康まつりについて (7) その他 6 閉会			

協 議 の 要 旨

主な内容は次のとおり。(○は委員等の発言、●は事務局の発言)

1 開会

館長代理より、本日の運営協議会が委員過半数の出席があり、小山公民館運営協議会規約第5条の2の規定により定足数に達していることについて報告した。また、本運営協議会の会議は、相模原市審議会等公開基準に基づき、公開する旨説明を行い、了承を得た。

2 委嘱式

委嘱替えのため、前回欠席した新委員に委嘱状を交付した。委嘱期間は、令和5年6月1日から令和7年5月31日までとなる。

3 会長（公民館長）あいさつ

星公民館長（運営協議会会長）よりあいさつを行った。

4 職員の紹介

事務局職員に異動があったため、自己紹介を行った。

5 議題

長谷川議長の進行により、議題の協議に入った。

(1) 令和5年度事業結果及び予定について

資料に基づき、事務局及び各団体から選出された委員より説明を行った。

質問、意見は次のとおり

○ふれあい学級についてお聞きしたい。30人ということだったが、募集人員を制限しての30人なのか。

●40人で募集したが、応募があったのが30人だった。

○理解した。次に、公民館まつりについてお聞きしたい。先ほどの話だと、利用者懇談会や団体など、公民館に関連する団体等には通知が送られるとのことだったが、自治会館などで文化活動している団体もある。以前も話したことがあるが、そういった団体に対して周知が行き届いていないと思う。どのように行うのか。

●個人参加については、地域情報紙12月1日号に公民館まつりの開催及び個人展示の募集について掲載する。また、ポスター等の掲示も行う予定となっている。

○回覧するだけでなく、例えば、自治会館などを利用している団体には自治会長を通じて通知するような形はどうか。以前、公民館まつりの展示部門で絵画などの応募が全くなかったという時期があったと思う。実際には、公民館ではない場所で活動を行っている団体があるのに、通知がなかったために応募できなかったという実態があったので質問した。

●ポスターを自治会の掲示板に貼っていただくお願いをさせていただこうと

思っている。公民館は、こういった団体がどのような活動をしているか把握できていないのが現状で、自治会を通して掲示をさせていただき、そちらを見て申込をしていただくという形にならざるを得ない。

○自治会長を通して、自治会館を利用している団体を確認すれば通知できるのでは。

○自治会館を持っている自治会はいくつもあるわけではないから、自治会を通して公民館へ紹介があれば動くこともできるが、現状はそうではない。

○理解はできるが、自治会館がない地区の団体は、他の自治会館を利用して活動しているところも以前からあると思う。

●自治会の掲示板にポスターを貼るという形では周知にならないか。自治会館で活動している団体に通知を直接送るということになると、その団体から連絡がない限り、現状では難しい。そのため、自治会の掲示板にポスターを貼っていただき、現在募集しているという周知をするのが一番ではないかと考えている。

○以前の公民館まつりでは展示がまったくないと言っていたが、ないわけではないのだから、声をかける努力をすべきではないかということが言いたい。

○先ほどからまったく個人が活躍する場がないように話をされているが、今年度は、個人の展示もOKだと説明している。

○理解したが、先ほどから話をしているのは、そういった努力を今までできていないと思われたので、努力すべきではないかということが言いたかったからである。

○以前、そのような話をいただいたので、今年度は個人の展示も行う予定で考えている。

○補足だが、ホームページや広報紙、地域情報紙、回覧板、各自治会の掲示板へのポスター掲示等々、公民館も今やれることはやっていると思う。

○それならば、昨年度の公民館まつりは、ホームページに募集は載っていなかった。だからいつから何をやっているか、どういう形で開催されるのかわからなかった。回覧があったかもしれないが、それ以外はなかった。

○前回はなかったのか。

●昨年度の公民館まつりは、かなり規模を縮小して、しかも、参加団体を公民館で活動している団体等に限定して実施した。また、個人の展示も実施しなかったため、募集も行わなかった。

○募集はなかったのかもしれないが、宣伝もなかったから、公民館で何をやっているかわからないという人が結構いたことは事実である。努力してほしい。

●承知した。今年度は、しっかり周知させていただく。

○家庭教育支援事業についてお聞きしたい。これは学級ではないのか。また、父親と子どもの参加型講座というのも実行委員会となっている。これはどのような方たちが関わっているのか。先ほど、女性学級には2人申込みがあったと説明があったが、学級の運営委員会、また、この実行委員会は、申込制で集まったのか、それとも専門部員が行っているのか教えていただきたい。

●まず学級については、準備委員として募集し、5名応募いただいた。開設まで行ったため運営委員に変更した。また、家庭教育支援事業及び父子参加型講座については、同様に実行委員を募集し、7名応募いただいた。

○理解した。

その後は特に質問等はなく、議題（1）については了承された。

(2) 令和5年度事業計画について、(3) 小山公民館長の推薦について、(4) 各貸室の利用区分の変更について、(5) 令和5年度小山公民館運営協議会視察研修について、(6) 令和5年度小山公民館市民健康まつりについて

以上、5議題について、資料に基づき、事務局より説明を行った。

(3) 小山公民館長の推薦については、推薦委員会委員長である長谷川議長にも説明いただいた。

質問、意見は次のとおり

○協議会の視察研修だが、まず目的は。また、行うとしても、行きたい場所やこういった研修をしたいという要望があれば、それが目的となり、研修になると思う。特に意向もなく、親睦を目的ということで行うのであれば、バスを使ってまで行う必要はないのでは。また、市のバスの利用は、いろいろと制約もあり、交通渋滞などで時間がかかる場合もある。近隣でも十分対応できる研修場所はあると思うので、よく考えていただきたい。

●運営協議会の今年度の事業計画書で、優良公民館の視察研修を行うと計画させている。やはり、運営協議会ということで、公民館の運営について学べるような場所に行くことが目的ではないかと思う。また、借上げバスではなく公共交通機関を使用するなど行き方についても検討したい。

○小池委員、また事務局の意見を聞き、何かいい案を考えて次回提案するということがか。

●では、来年度の案として次回提案し、今年度は実施しないこととする。今年度の予算については、予算の組換えを行うか、委員に配布できるような資料の購入を行うこととしたい。

○市民健康まつりについてお聞きしたい。今年度実施しないということだが、令和4年度もやっていないのでは。

●昨年度は、「箱根チャレンジ」という、1か月かけて、ウォーキングしていただき、その歩数で箱根駅伝の往路復路の距離をどれだけ歩いたかを公民館へ報告いただくという形で実施したものを健康まつりとして取扱った。

○令和3年度るとき、コロナを理由に体育事業を1つも実施しなかった。運営委員会で質問したときに、コロナが落ち着いたら実施するという話だった。今年度は、運動会も実施できたのだから、やろうと思えばできたのではないか。

●以前のような形に戻したいという意見が今年度の実行委員会に出て、今年度は中止にすると決定した。確かにコロナも落ち着いてきたので、しっかり準備すれば行えたのではという話は理解できるが、運動会も縮小させた状態での実施であったため、以前のような健康まつりを今年度実施することは難しいとの判断になった。

○昨年度、形を変えて実施したのだから、今年度全くやらないというのは不思議だと思って質問した。

●今年度も昨年度のような形を取るかという話は一度出たが、実施しないと決定した。ご理解いただきたい。来年度に向けての参考意見ということで承る。

その後は特に質問等はなく、議題（2）、（3）、（4）、（5）については了承された。

（7）その他

次の4件について、資料に基づき、事務局より説明を行った。

ア 令和6・7年度相模原市青少年指導委員の推薦について

イ 令和5年度 第48回相模原市公民館のつどいへの参加について

ウ 相模原市公民館連絡協議会表彰 表彰式について

エ 令和6年 小山地区「新春のつどい」について

特に意見等はなく、議題（7）については了承された。

その後、議題（4）に対する質問が次のとおりされた。

○利用区分の件で、抽選回数が5回に増えたことで抽選競争率が上がったから区分を変更したいということだが、実際、回数が増えた分が増えたとは思えない。希望としては、利用者にアンケートを取った上で決めてはいただけないか。

○利用者懇談会役員として説明させていただく。以前、有料化になるときに、

利用者懇談会の総会でサークルに聞き取った。その時は、今のままが7割、2時間ごとというものが3割という結果だったため、今の形でスタートしたが、最近、利用団体も増え、なかなか予約が取れないという意見もあり、今年度の総会で、サークルに聞き取った結果は半分半分だった。

●これまでの利用状況を見ると、例えば、午後の区分で、午後3時で帰る団体も多数あり、また、午後、夜間と連続で予約をしても、実際は4時ごろから借りるという団体もある。今回の抽選結果を見て、区分を分ければその分、使える団体が増える可能性があると思ったことから、今回、提案した。区分を分けても、2つを同時に抽選申込すれば、1回というカウントになるので、今と同じように使うことができる。利用の内容が変わるということではない。

○利用料はどうなる。

●半分になる。大会議室であれば、1,000円になる。

○外れを少しでも減らそうという案なので、いい案だと思う。

○夜間も2つに分けるということだが、夜間2の20時から22時という時間帯に利用している団体はあるのか。

●大会議室など、ギリギリまで利用している団体もあるが、多目的室では、午後8時で帰る団体もある。そのため、今回提案の区分にしたというところはある。

○今回の内容で、ある程度データを取って分析してからその都度検討するということはできないか。今回、区分を変更したらこれで決まりということか。

●券売機の配置を変える必要があり、費用が発生する。また、Sネットによる抽選申込についても変更を行うため、一度変えたものをまた元に戻すというのは難しいと思っている。抽選申込を間違えないように行っていただければ、以前と同様に利用することはできるので、ご理解いただきたい。

○今の話だと、2つを同時に申し込めば、5回申し込めるということか。

●委員の言われたとおり、2つを同時に申し込めば1回になる。1つ1つ申し込むと2回になってしまうので、気をつけていただきたい。

○理解した。

以上により、議題（4）は了承された。

最後に、坂内委員から、小山地区子ども会育成連絡協議会50周年記念誌の進捗状況及び作成にあたってのお礼のあいさつがあった。

入谷副議長から閉会のあいさつをした。

小山公民館運営協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	星 清次	小山公民館長	会 長	出席
2	中里 雅子	向陽小学校校長		出席
3	山崎 真理	小山中学校校長		欠席
4	入谷 利郎	小山地区自治会連合会会長	副議長	出席
5	江口 基明	小山地区自治会連合会副会長		出席
6	常盤 久男	小山地区自治会連合会副会長		出席
7	福田 雅幸	小山地区自治会連合会事務局長		出席
8	長谷川 澄男	小山地区社会福祉協議会会長	議 長	出席
9	小池 美恵子	小山地区民生委員児童委員協議会会長		出席
10	竹内 博之	小山地区老人クラブ連合会会長	監 査	出席
11	大谷 春枝	向陽小学校PTA会長		出席
12	亀田 浩代	小山中学校PTA会長		出席
13	石崎 加奈子	青少年指導委員地区長		出席
14	岩井 章	スポーツ推進委員幹事		出席
15	杉山 安由	小山地区健康づくり普及員協議会理事		出席
16	駒形 典彦	向陽こどもセンター館長		出席
17	小宮 里美	利用者懇談会会長	会 計	欠席
18	宍戸 佳子	利用者懇談会役員		出席
19	阿部 公作	小山地区青少年健全育成協議会副会長		出席
20	加藤 秀子	交通安全協会小山支部支部長		出席
21	坂内 ツナ子	学識経験者		出席
22	山崎 順二	学識経験者		出席
23	伊藤 道子	学識経験者		欠席